

「知」の集積と活用[®]の場 産学官連携協議会についてのご紹介

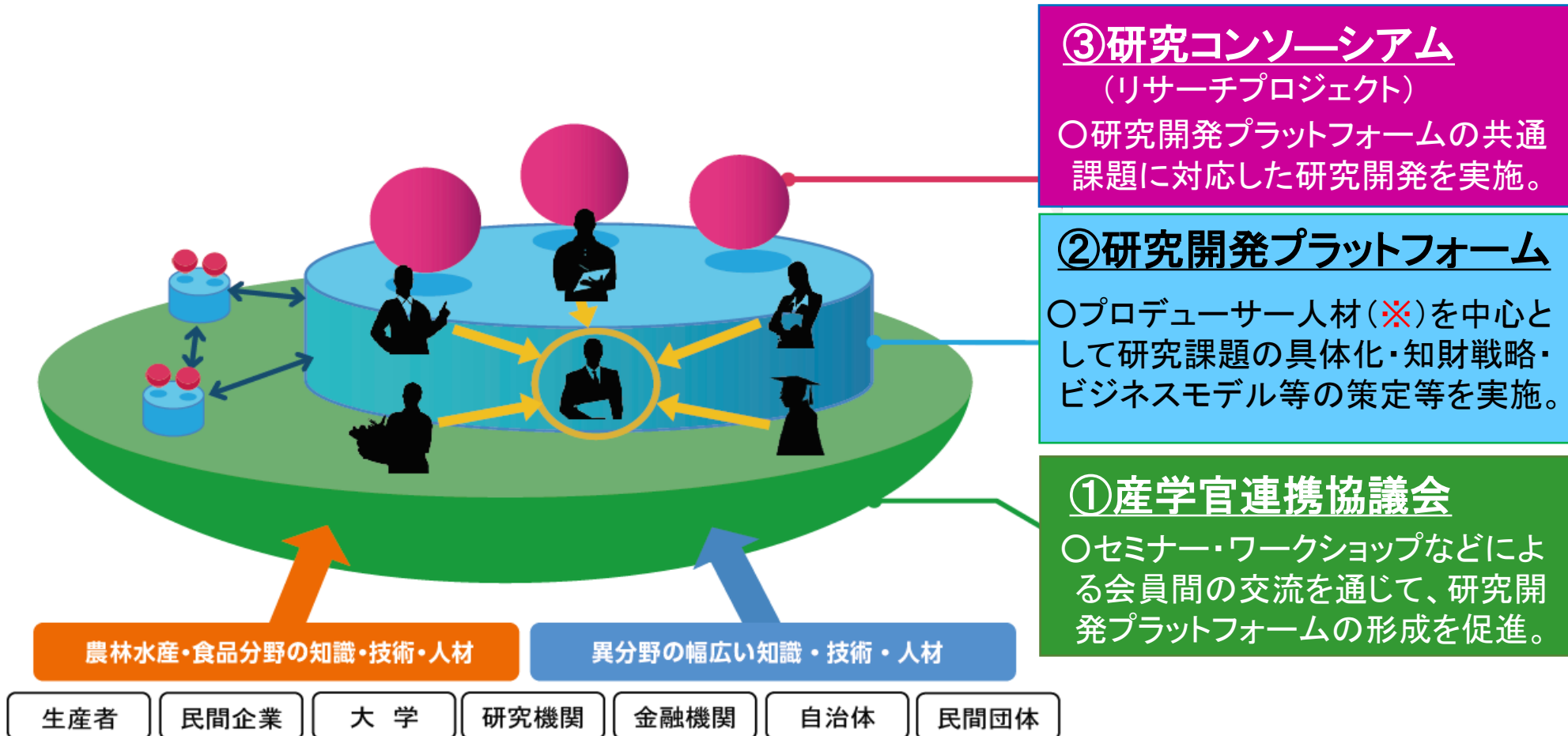
令和3年度第1回グローバル・フードバリューチェーン
推進官民協議会全体会合

令和3年11月5日

農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究推進課 産学連携室

産学連携研究の仕組み（「知」の集積と活用の場）

- 「知」の集積と活用の場は、オランダのフードバレー等の産学官が連携したイノベーション創発の仕組みを参考にしながら、我が国における新たな産学連携研究の仕組みとして、平成28年4月から活動を開始。



(※)プロデューサー人材とは、民間等での研究開発を通じた商品化・事業化の経験等を有する、**研究開発プラットフォームの執行責任者**

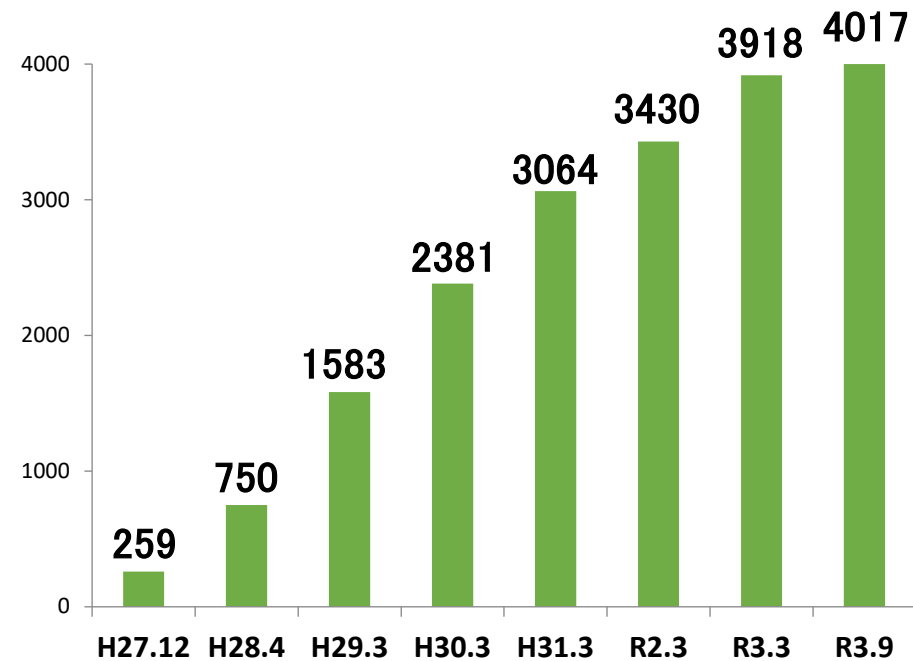
産学官連携協議会について

- 産学官連携協議会は、セミナー・ワークショップ等の相互交流の場を提供し、研究開発プラットフォームの形成やプロデューサー人材の育成に努めてきたところ。
- 協議会には、農林水産業・食品産業だけでなく、電機・精密機器製造業、化学工業など多様な分野から参画。会員数は**4,017**(令和3年9月1日時点)

<産学官連携協議会の会員構成>

区分	業種・組織	会員数
法人	農林水産業・食品産業	668
	電機・精密機器製造業等	217
	化学工業等	175
	その他製造業等	265
	卸売・小売業	92
	情報通信業・専門・技術サービス業	573
	金融機関(農林中央金庫、銀行 等)	33
	研究関係機関(大学、国研、公設試等)	429
	民間団体(全農他)	280
	行政・自治体(県、市町)	86
個人	その他(大使館他)	56
	農林漁業者等	89
	研究者等	1054
合計		4,017

<会員数の推移>



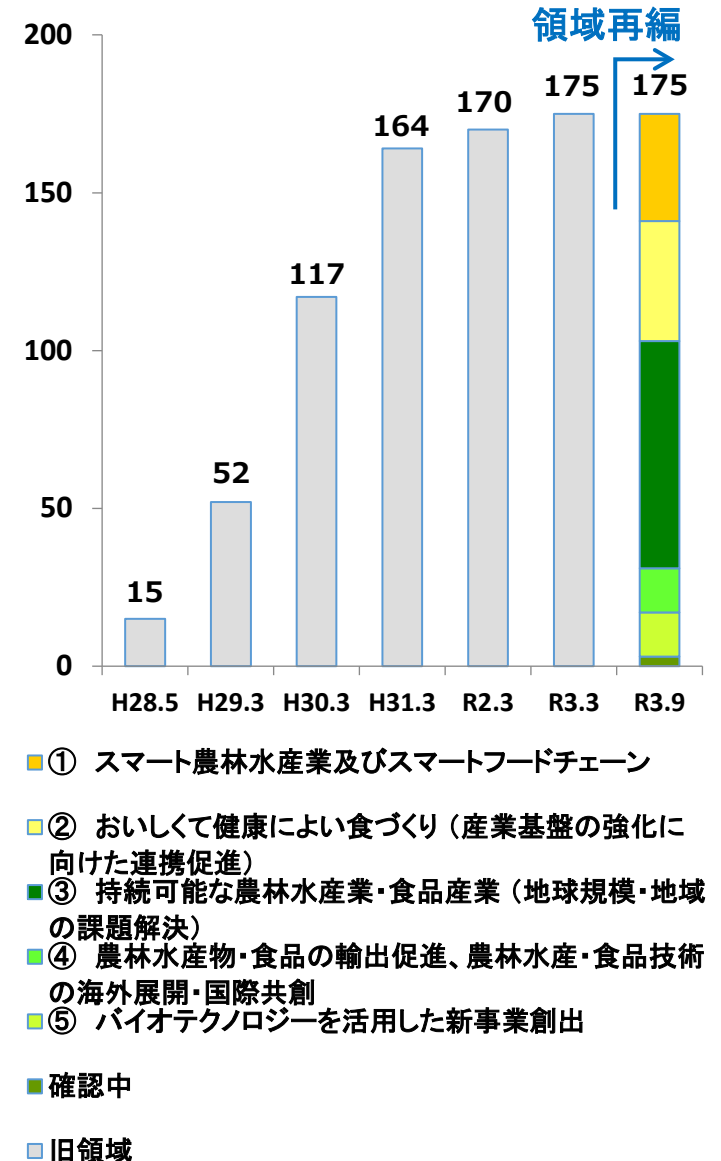
研究開発プラットフォームについて

○令和3年9月1日現在で175のプラットフォームが形成

ターゲットとする産業領域(カテゴリー)	設立数
① スマート農林水産業及びスマートフードチェーン	34
② おいしくて健康によい食づくり (産業基盤の強化に向けた連携促進)	38
③ 持続可能な農林水産業・食品産業 (地球規模・地域の課題解決)	72
④ 農林水産物・食品の輸出促進、 農林水産・食品技術の海外展開・国際共創	14
⑤ バイオテクノロジーを活用した新事業創出	14
確認中	3
合 計	175

※令和3年度からの第2期では、プラットフォームを
5つの「ターゲットとする産業領域」に分類

＜研究開発プラットフォーム数の推移＞



①会員、プラットフォームの一斉更新と支援の集中

第1期の終期に会員、プラットフォームの活動継続の意思を確認し、継続の意思のある会員、プラットフォームに対して支援を行う。

②スタートアップエコシステムの創生

革新的な技術開発や開発された技術を活用した新事業創出を目指すベンチャー企業の参画を促し、農林水産・食品分野におけるスタートアップエコシステムの創生を目指す。また、事業化・産業化に向けてアクセラレーターやメンターによる併走支援を検討する。

③スマート農業の推進

スマート農業の社会実装やすそ野拡大に貢献していくため、スマート農機のシェアや作業受委託等のスマート農業関連サービス産業に関するプラットフォーム活動が活発に展開されるよう支援する。

④海外市場への展開促進

海外大学等との共催マッチングセミナーの開催等の取組を推し進め、研究開発プラットフォームの成果の海外展開を支援する取組を本格化させる。